



珠玉を 学校祭を終

〒007-0868

札幌市東区伏古8条1丁目1番28号

TEL 781-2221 FAX 783-8062

<http://www.sapporo-j.sapporo-c.ed.jp/>

生徒会事務局 石寺 禎治

今年度の学校祭の目標は「感動」を味わうでした。生徒と教職員が一体となって目標に向けて取り組んだ学校祭の熱い日々。その軌跡を少し紹介してみたいと思います。本校の学校祭はクラス単位ではなく、それぞれの部門を生徒が希望して集まる学年分担方式を採っています。その最初の会議が7月4日でした。各分担毎に夏休み前までにどのような内容にするか話し合いました。夏休み明け教師サイドの会議の中で具体案の交流をして、9/12から本格的な活動が始まりました。学校祭の開祭式は2年生が担当しました。開祭式には生徒会から要望していた内容がありました。それは学校長の開祭宣言とシンボルデザインの披露、オープニングにふさわしい華やかさでした。当日はどのように校長先生を登場させるのか楽しみにしていましたが、普通の登場で拍子抜けしました。これで終わりかと思ったその時、サプライズが待っていました。校長先生が女装して舞台の上には立っているではないですか！そして2年生のみんなと「学校祭スタート！」と叫んで今年の学校祭が始まりました。後で聞いたところ2年生が校長先生のところに通い、出演交渉をしたそうです。リハできない生ならではの臨場感をみんなで体育館で感じる事ができた瞬間でした。

次に紹介するのは7組の皆さんです。ハンドベルの演奏をしました。最初の体育館リハに私は立ち合いましたが、正直なところ何の曲を演奏していたのかわかりませんでした。マリオの曲だと言われてそうだったのかと思いました。しかし、体育館リハのたびに彼らは上手になっていきました。最終リハの段階では、よくぞここまで来たというレベルになっていて、私自身が感動していました。当日は全校生徒の前という超ド級の緊張感の中、見事に演奏できました。7組の皆さんにとって大変貴重な体験になったのではないかと思います。

次に紹介するのは、3年生の閉祭式です。どこよりも早く全校の準備活動風景を撮影して動き出しました。それぞれ分かれて自分の分担を準備したようですが、中盤のリハの段階では全体像が見えている人が少なくばら感かぬぐえませんでした。みんなを巻き込んで学校祭を締めるという共通の目標をもう一度確認して活動を続けていました。当日、幕の内側でやる気に満ち溢れる生徒たちの顔を見て、「人ってちゃんと変わるんだよな」と頼もしい気持ちで見っていました。全校生徒の後押しを受けて最高の盛り上がりの中、イメージソング「アイドル」踊り切り、無事くす玉も割れ、様々なところで「感動」を振りまいた学校祭が終わりました。このほかにも上級生をうならせる演技やパフォーマンスを披露した1年生。様々なところに工夫を見せて違いを感じさせてくれた2年生。そして最上級生として完成度の高さを披露した3年生は、会場内の盛り上げもしっかりやってくれました。これこそが昨年の3年生から引き継いだギフトだと感じました。

最後に私とともに熱い夏とともに走り抜けた3人の生徒を紹介します。坂田敬紳さん西田菜桜さん、上野悠斗さんです。彼らは総務全体進行係として今回の学校祭を後ろで支え、盛り上げ役として前でも活躍しました。彼ら3人は、プログラムを作成し、全6回のPR番組を撮影編集放送し、当日の各分担紹介ビデオを撮影編集し、さらに当日のプレゼント企画としてうちわを製作し、当日全体の司会進行をしながらくじの抽選をやったのけました。彼らの日々高まるチームワークと個々の圧巻のパフォーマンスがあって乗り越えることができました。私にとっては日々忙しい中で、何より彼らと放課後学校祭の準備をすることが楽しく、終わってしまった今、とても寂しい気持ちになっています。きっと様々なドラマや思いが交差したのがこの学校祭という行事です。保護者の皆様にはお子さんが何を語るのかぜひ尋ねてみてほしいと思っています。ステキな物語が聞けるかもしれません。お試しあれ。



※上の絵はプレゼント企画のうちわのデザインです。西田さん作です。

学校祭を終えて

生徒会長 輪島 天音

学校祭お疲れ様でした。皆さんは存分に楽しめたでしょうか。普段、勉学に励んでいる私たちにとって、学校祭は非日常の時間でした。それは学校祭当日だけではなく、学校祭準備期間から非日常の時間が始まっています。同じチームになった仲間たちとたくさん話し合いを重ね、全力で取り組んできた成果が非日常感を増長させ、より楽しい学校祭を作り上げたと思います。皆さんの弾ける笑顔、盛大な歓声は今でも目に焼き付いています。

私は今回の学校祭が「楽しかった」の一言で終わるような行事ではなかったと考えています。他学年と交流できる機会は滅多にありません。ステージ発表を間近で見られたこと、その学年の雰囲気や歓喜を肌で感じられたことは、様々な形で刺激になったのではないのでしょうか。皆さんにとって学校祭が最高の思い出になっていると嬉しいです。

11月の主な行事予定

2日(木)	合唱発表会 悩みやいじめアンケート配付	17日(金)	職員会議
3日(金)	文化の日	20日(月)	教育相談日⑤ 2年生1日キャリア学習
6日(月)	教育相談日① 悩みやいじめアンケート回収	21日(火)	1年生1日キャリア学習
7日(火)	公開授業(5h) 1・2年学級学年PTA	23日(木)	勤労感謝の日
8日(水)	教育相談日②	24日(金)	キャリア学習(6h 学習反省)
13日(月)	常任委員会・局会	27日(月)	教育相談日⑥
14日(火)	教育相談日③	28日(火)	教育相談日⑦
15日(水)	教育相談日④	30日(木)	部活動一斉ミーティング



珠玉

〒007-0868

札幌市東区伏古8条1丁目1番28号

TEL 781-2221 FAX 783-8062

<http://www.sapporo-j.sapporo-c.ed.jp/>

学年合唱発表会

美しい歌声響かせて

久保 咲月

いよいよ合唱の取り組みがスタートします。皆さん楽しみにしてくれているのでしょうか。音楽の授業中に歌声が聞こえてきたり、休み時間など友達と一緒に楽しそうに歌っていたりなどの様子を見ると、どんな合唱ができあがるのか、今からとても楽しみです。

合唱の練習をしていると必ずと言っていいほど、不平や不満が生まれます。「全然声を出してくれない。」「ちゃんとやっているのに声出せて言われる。」「放課後全然残らない。」「塾があるから仕方ない。」…などです。不満を持ちながら歌う合唱はどのように聞こえるのでしょうか？聞いている人は感動するのでしょうか？では、衝突を避けるために意見を出さないというのはどうでしょうか。これは平和かもしれませんが、前進する力は乏しいですよね。皆さんには楽しんで歌い、自分たちの良さを実感しながら、聴いている人にも感動を与えられるような合唱をしてほしいと思っています。そのためには、自分にはどのようなことができるかよく考えたり、意見を尊重し合ったり、コミュニケーションの取り方に気を付けたりなど、一人ひとりが真剣に取り組むことが大切です。小さな力でもたくさん集まれば多くのものを動かす力になります。大きな感動を届けてくれることを楽しみにしています。

この「学年合唱発表会」という行事は今年で2回目を迎える行事です。新型コロナウイルスの影響により、数年中止を余儀なくされた合唱でしたが、昨年度から「学年合唱発表会」という形になって復活しました。2,3年生の皆さんは、歌えることの楽しさや喜びを味わえたのではないかと思います。しかし、その歌声を届けられたのは、主に学年の先生方のみ…。他学年に発表を見せることも、鑑賞することもできず、寂しさの残る結果となってしまいました。今年は全学年が体育館に入り、生の歌声を聞くことができます。心を合わせ歌を歌い、拍手をもらう、という温かな体験を通して、自分自身や学級の成長を感じられる行事になることを祈っています。

【合唱発表会までの日程】

- 10月11日(水) 1・2年生学年伴奏者オーディション
- 10月16日(月) 3年生学年伴奏者オーディション
- 10月23日(月) 合唱練習開始

※今月下旬、日程は未定ですが各学年の学級発表会もあります。

保護者の皆様

今年の学年合唱発表会は保護者の方の見学を予定しておりません。せっかくのお子様の雄姿をお届けできないことを心苦しく思いますが、どのような行事だったのか、ぜひご家庭での話題にさせていただきたいと思います。ご理解のほどよろしくお願いいたします。